

愛知県退職校長会 会報

目次

会長あいさつ	1
愛知県退職校長会総会報告	1
愛知県退職校長会入会状況	1
愛知県退職校長会役員名簿	2
全国連合退職校長会総会報告	2
生き生きライブ	2・3
会員交流広場	4
現職校長会情報	4

題字 高橋由美子 (元 岡崎・山中小)
29年度入会
タイトル 野田光宏 (元 岡崎・竜海中)
7ページ 27年度入会

「組織力」を高める



会長
大久保 慎一

組織について
会長に推挙されて一年。四六時中頭から離れないことがありました。それは「組織の継続」であり、「組織率」の問題でした。

「全国連合退職校長会」や「東海北陸地区協議会」に参加する中で、多くの県から「新規会員の減少により、組織の運営に支障を来す」という声があり、そのつど愛知と重ね合わせている自分がいました。

新規会員を迎える

お陰様で、この四月から二百四十七人、九十九%の加入率で新規会員を迎えることができました。これで会員数は千六百九十八人となりました。愛知の教員の「組織は数・組織は人・組織は継続」を大切にしている気概に感謝いたします。

とは言え、定年を六十五歳まで段階的に引き上げるといふ、いわゆる「定年延長法案」

の国会提出が迫っています。予測される定年延長、六十歳役職定年、七十%給料等、組織強化にとつて難題を突き付けられます。

これまで本県は、平成十一年に、「七年会員制」を敷き、さらに二十九年には「退職校長会は分離せず」という、先人の叡智で順調に進んでまいりました。

今回の問題につきまして、新たな「愛知方式」を皆さんとともに考えていくつもりです。

学校支援・地域貢献

次に、昨年度は退職校長の「学校支援・地域貢献」の実態を調査しました。

教育課題が山積する中で、学校・家庭・地域が一体となつて教育を推進していく「チーム学校」や「地域学校協働活動」等の充実が叫ばれています。こうした中で、退職校長に対して熱い視線が注がれてもいます。

また、「学校支援・地域貢献」は、我々にとつても「生きがい」となり、「生涯学習の場」ともなっています。

迫る「東陸協議会」

最後に、本年十一月七日・八日の二日間、「東海北陸地区協議会」が愛知で開催されます。皆様のご理解・ご協力を切にお願いするしだいです。

平成三十一年度 愛知県退職校長会 総会報告

本年度の総会は、三月十二日(火)に名古屋ガーデンパレスにて開催されました。

大久保慎一会長は冒頭の挨拶で、学校支援・地域貢献についてのアンケート調査の結果にふれながら、この活動の一層の充実に努めていきたいと強調されました。また、十一月七・八日の両日、岡崎市で開催を予定している全連退東海北陸地区協議会愛知大会に向けて、準備を怠りなく進めていきたいと述べられました。

その後、平成三十年度の事業報告、会計決算報告・会計監査報告、三十一年度の事業計画(案)予算(案)の審議がなされ、すべて承認されました。

役員は、会長に大久保慎一氏、副会長に榊岡譲氏、安東要氏、江本隆氏、松山基紀氏、坂本憲昭氏が選任されました。尚、新役員九名を含む全役員については、次ページに掲載させていただきます。

また、一宮登副会長、坂野重法常任理事、鈴木栄二理

事、小林啓子理事、安藤正紀監事、伊藤辰男監事、辻正人監事、栗田万砂夫活性化委員、久保田力活性化委員がご退任されました。長く本会を支えていただいた皆様に厚くお礼申し上げます。



令和元年度 愛知県退職校長会 入会状況
(25年度～元年度会員数) H31.3.31現在 (人)

年度 地域	25	26	27	28	29	30	元	計
三 河	86	96	108	77	88	108	89	652
尾 張	85	73	83	92	76	87	98	594
名古屋	66	65	61	70	71	59	60	452
合 計	237	234	252	239	235	254	247	1,698

監事		(三河)		河合	智仁
(尾張)		村	良弘		
(名古屋)		小口	博則		
副支部長		(三河)	佐々木尚也		
(尾張)		水野	勝涌		
(名古屋)		安田	典正		
(名古屋)		東野	真志		
(名古屋)		上井	靖		
(名古屋)		川北	貴之		
組織活性化委員					
(三河)		加藤	宏基		
(尾張)		野木森	広		
(名古屋)		小神	一夫		

そして結びに、「心に弦を
持つ女性よ」という言葉を引

匠や歎異抄との出
会いの中
で、自ら
作曲した
歌曲「歎
異抄」を
映像とと
もに披露
した。



さらに、趣味の幅を広げ生活に潤いを増やそうと、様々な事柄に手を広げています。男の料理教室、デジタル一眼レフカメラや天体望遠鏡、富士山から始め日本アルプスの山々を目指す山歩き、地域の仕事、さらには一宮市の発明クラブの指導、地元小学校の見守り隊での活動・・・。

現職の時に比べ、活動の幅が広がり、忙しさが増しているような気がします。今後とも思いつくまま様々なことに広く浅く関わり、ゆつたりと楽しく幸せな生活が送れたらと思う毎日です。

平成三十一年四月三十日、平成最終日に第八十八番札所大窪寺のお参りを終え、無事「結願（けちがん）」をした。同じ年に退職した市内の校長〇氏とともに丸四年をかけて廻り終えることができた。一回で二泊三日、十ほどの寺を廻り、年二回、合計八回で終える「区切りうち」だ。寺と寺の距離が長いところは車で移動したが、できる限り「歩き遍路」をした。白衣を身にしきとい、「同行二人」の杖を持つと身が引き締まった。歩く途中「お接待」を何度も受けた。多くの出会いもあった。足摺岬の雄大な景色は忘れられない。松山では道後温泉につかり、宿坊となった善通寺では朝の勤行にも参加した。いつの間にか、般若心経をよびもなく唱えることができるようになった。遍路旅をして

特段信仰心が深まったわけではないが、人生の楽しみ方を学んだことは確かだ。



「結願証」を手に記念写真

シニアライフを楽しむ

28年度入会 大島 清和
(元 名古屋・広見小)

退職して、はや四年目、第三の人生が始まり、自分の時間を楽しむシニアライフを送っている。

退職をする数年前、通勤電車の地下鉄のつり革広告を見て、新たな趣味としてアルトサックスを習い始めた。少しずつ曲が吹けるようになり、無謀にも、市民吹奏楽団に入団した。現職中は、あまり活動に参加できなかったのだが、今は、時間もでき、下手なりに楽しんで活動に参加している。一人ではなく、大勢の団員と合わせて演奏することとは、実に楽しい。

毎週土曜日の夜、市内の貸

スタジオに集まり、練習している。私のようなシニア世代もおり、心強い。毎年、五月には、定期演奏会があり、クラシックからポップスまで、様々な曲を演奏している。他にも老人ホームの慰問演奏会なども年に数回ある。聴衆から、大きな拍手をもらったり、他の楽器と合わせてうまく吹けたりしたときの喜びは、何とも言えません。

演奏会では、いつも若い世代の団員の足を引っ張ることばかりですが、恥をかき、汗をかきながら、ゆったりとしたシニアライフを今後も楽しんでいきたい。

時速六十キロ走行中

29年度入会 河合 修
(元 豊橋・東部中)

四月より二年間の常勤から非常勤の生活が始まった。自分の時間が増え、今までできなかったことを一つずつこなしていくように考えた。

まず先輩から教えてもらった「青春18切符」の活用である。甲子園の選抜野球大会を観戦したり、修復工事が終わった姫路城を見学したりしている。ラッシュ前に、豊橋発のJRに乗車すると難なく席も確保で

き、開放感に溢れた出発は心躍る時間である。日帰りの強行日程であるが、私と同様にリュックを背に移動する人をよく見かけ面白い。

同時に田畑の管理の必要にも迫られた。中古のトラクターを購入し、自分も農家の一員だと思い込んで雑草と戦っている。かううじて家の横にある五畝ほどの畑で家庭菜園をしているのが実情である。情けないことに粘土質の土にも悪戦苦闘。もみ殻を軽トラで搬入しては、土壌改良に努めているが土は案外手ごわい。

先日地域の先輩が、「子どもは時速十kmで毎日が過ぎ、六十歳は時速六十kmで過ぎるだぞん」と教えてくれた。確かに一年の経過は驚くほど早い。生活の基盤を地域とのつき合いに置き、日々生活していきたいと思っている。

縄文杉との出会い

30年度入会 安田 典正
(元 長久手・長久手中)

昨年八月、世界遺産に登録されている屋久島に行った。縄文杉に会うには、標高差七百m、往復二十キロ、所要時間十一時間を歩く体力と気力が必要とわかり、「今だー」と妻とともに一念発起した。

ツアー前日に屋久島入り。翌朝四時半、ガイドにピックアップされ、車で登山バス乗り場へ。外は激しい雨。ガイド曰く「この雨は降り続くことはない」。半信半疑だったが、実際その通りになった。

約一時間で登山口へ。午前七時、カップ姿でツアーがスタート。しばらくは平坦なトロコ道歩き。その後、急斜面を登った。川を渡ったりして進む。途中、三代杉、ウィルソン株、大王杉、夫婦杉といった自然の造形美を堪能した。昼過ぎになって、ようやく縄文杉との対面。まさに荘厳そのもの。霧の中で超然と佇むその姿にしばし見入ってしまった。

宿に戻ると万歩計は三万三千歩を示していた。心地よい疲れの中で感じた充実感と達成感。これも退職後に始めたウォーキングの成果か。さて次は。



自然の造形美

誇らしい仲間

31年度入会 斎藤 照代
(元 名古屋・弥富小)

今年三月末、定年退職しました。振り返れば本当に幸せ

な教員生活を送ることができました。それは、三十八年間健康であったことや家族の協力があつたこととや家族の協力があつたことはもちろんですが、素敵な先輩や仲間巡り会えたおかげだと感謝の気持ちで一杯です。特に、私は国語教育研究会を通して仲間になった先生方から多くのことを学ばせていただきました。昨年は、研究会が一丸となって全小国研名古屋大会を開催しました。山ほどあった課題を一つ一つ解決し、当日を迎えました。子どもたちの生き生きとした姿に大会実施の意義を改めて感じました。そして同時に、共に苦勞をした仲間を本当に誇りに感じました。

退職後は、拠点校指導員として四人の初任者の研修を担当しています。「初めて毛筆指導をするので、気を付けることを教えてください。」と真摯に教えを請う初任者に自分が知っていること全てを伝えたいという思いが膨らみ、やりがいを感じています。そして、ここにも誇らしい仲間がいるとうれしくなります。退職後の第二の人生を日々奮闘する先生方の応援団としてスタートさせました。

29年度入会 澤田 祥明
(元 岡崎・六ツ美北部小)



岡崎市「水と緑の森の駅・
かおれ溪谷」の初夏を、透明
水彩で表現しました。



会報を読んでの感想・意見
や会員の皆様の作品【絵画・
書・写真・短歌・俳句等】を
ぜひお寄せください。
詳細は、事務局まで。

30年度入会 鍵本 光昭
(元 豊明・三崎小)



祝福と感謝の気持ちを込めてPCのペイントで作りました。

28年度入会 牧野 晃
(元 名古屋・原小)



里山で出会ったヒヨドリ。
獲物を捕らえた時の顔が、
ドラマの悪役のようでした。

[illegible]

令和元年度愛知県小中学校
長会総会が、五月十五日（水）
に日本特殊陶業市民会館で開
催されました。中谷会長は、
『挑戦』『育成』『文化創造』
を合い言葉に、新しい時代に
向き合う校長会を目指し一丸
となつて課題に取り組もう。
と訴えました。議案の審議
承認、活動方針の採択がなされ
れました。

また、平成三十一年度名古屋市立小中学校長会総会が、

四月十七日（水）にウィルあ
いちで開催されました。坂野
会長は「働き方改革により、
校長のリーダーシップが求め
られている。教員の本文は授
業であることを意識し『名古
屋の教育の充実』のために取
り組もう。」と訴えました。議
案の審議・承認、活動方針の
採択がなされました。

訃報（ ）内はご逝去された日
 山田 昭彦先生（三十一・一・七）
 元 愛西市立市江小学校校長
 加藤 和正先生（三十一・三・十七）
 元 あま市立甚目寺中学校校長
 平成三十一年一月一日から、
 令和元年六月十六日までにご
 逝去され、事務局にご連絡い
 ただいた七年会員の方を掲載
 しました。

ご多用の中を、原稿の執筆にご協力いただきました多くの皆様、並びに貴重な作品を投稿いただいた皆様に心より感謝申し上げます。皆様のご協力により、予定どおり会報を発行することができました。

これからも、会員の皆様に喜んでいただける会報になるよう、努めてまいります。今後とも、皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

- | | |
|--------|-------|
| ○事務局長 | 上田 信 |
| ○事務局次長 | 大橋 保友 |
| ○事務局次長 | 稲生 修一 |
| ○事務局員 | 加藤美津代 |

愛知県退職校長会事務局
名古屋市中区新栄一丁目

愛知県教育会館六階
愛知県小中学校長会事務局内
TEL 〇五二—二六一—八一五二
FAX 〇五二—二六一—六八〇七
E-mail ai-kocho@axel.ocn.ne.jp